

カムイワッカ湯の滝上流部試行事業の実施結果について

事業概要

今年度は、2021年度から2023年度までの3か年で試行が計画されているカムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用検討業務の2年目となる。しかし、4月に発生した観光船事故の影響を鑑み、当初計画を大幅に見直し、9月30日～10月2日の3日間のみの実施とした（表1）。事業形態は、個人による利用を行う「試行事業B」とし、秋のマイカー規制（知床オータムバスデイズ）と連携して実施した。運用は事前に作成された『「試行事業B」に関する運用ガイドライン』に基づき実施した。昨年度からの変更点を表2の通り整理した。

表1. 2021年度及び2022年度の試行事業の実施状況

	2021年度		2022年度	
	実施期間	実施結果	実施期間	実施結果
試行事業A (ガイド引率型)	7月1日～7月20日（20日間）	○	6月16日～6月30日（15日間）	×
			①7月19日～8月5日（18日間）もしくは ②8月16日～9月16日（32日間）	×
試行事業B (個人利用型)	10月1日～10月3日（3日間）	○	7月1日～7月15日（15日間）	×
			①7月19日～7月22日（4日間）もしくは ②8月22日～8月26日（5日間）	×
			9月30日～10月2日（3日間）	○



写真1. 知床自然センターでのレクチャーの様子

表2. 試行事業Bの実施概要と昨年度からの変更点

項目		2021年度 試行事業B	2022年度 試行事業B
基本情報	目的	個人利用に向けた管理運営体制の検討	
	実施形態	個人利用型	
	事業期間	10/1～10/3(3日間)	9/30～10/2(3日間)
	事業区間	カムイワッカ湯の滝(四の滝まで)	
	周知・募集方法	観光協会 Web サイト	
	受付場所	知床自然センター	
	受付時間	9:00・10:00・13:00	8:30・9:00・10:00・11:00
	現地利用時間	9:00～16:00	
	移動手段	シャトルバス	
	参加条件	中学生以上	
	1グループあたりの 上限人数	6名/組	
	立入上限	100名/日	150名/日
協力金	1,000円 (シャトルバスは無料)	2,000円 (シャトルバス料金を含む)	
管理体制等	利用コントロール	事前情報周知と誓約、レクチャーによって、自己責任にもとづく利用を徹底	
	安全対策装備	ヘルメット	
	現地管理体制	5～7名(斜里町)	6名(斜里町)
	現地設備	簡易更衣室・簡易クローク	
	調査方法(項目)	参加者アンケート	
	怪我・トラブル等	特段の報告なし	

※昨年度からの変更点を赤字で示した。

1) 実施結果

各日の参加実績を表3にとりまとめた。3日間での総参加数は53組85名であり、昨年度の87組151名と比較し、約56%と減少した。

表3. 2022年度 試行事業Bの参加組数及び参加人数

日付	レクチャー時間	参加組数	参加人数
9月30日	8:30	4	7
	9:00	4	7
	10:00	2	2
	11:00	6	9
計		16	25
10月1日	8:30	4	4
	9:00	3	8
	10:00	4	11
	11:00	4	5
計		15	28
10月2日	8:30	6	8
	9:00	6	9
	10:00	6	11
	11:00	4	4
計		22	32
3日間の合計		53	85

2) 利用者アンケート調査の結果（詳細は参考資料4に掲載）

当事業の実施にあたり、参加者の意識や行動を把握するためのアンケート調査を行った。アンケートについては本事業の参加者が帰着した際に配布し、その場で記入したものを回収した。

集計結果については昨年度と比較し、特に変化が見受けられた項目や実施要領に変更があった項目のみ抽出して整理した（表4）。

表4. 2021年度と2022年度の試行事業アンケート集計結果の比較

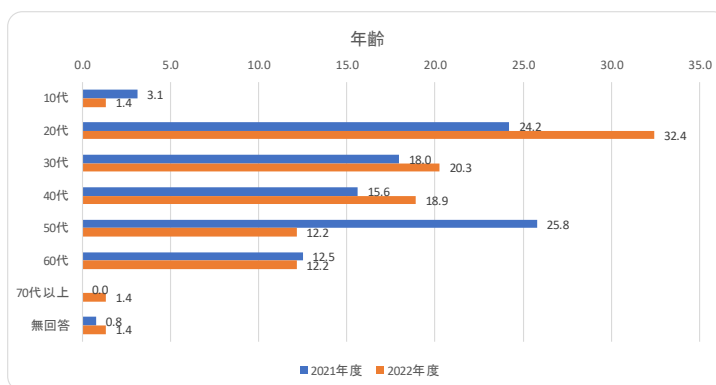
アンケート概要

	2021年度	2022年度
配布期間	10/1～10/3	9/30～10/2
配布数	132	85
回収数	128	74
回収率	97.0%	87.1%

2021年度 n=128
2022年度 n=74

1.年齢

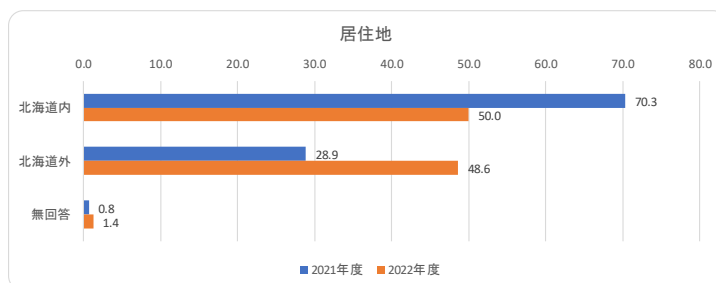
	2021年度	2022年度
10代	3.1	1.4
20代	24.2	32.4
30代	18.0	20.3
40代	15.6	18.9
50代	25.8	12.2
60代	12.5	12.2
70代以上	0.0	1.4
無回答	0.8	1.4
計	100.0	100.0



■2021年度は50代の参加者が最も多く、25.8%だったのに対し、2022年度は20代の参加者が最も多く、32.4%であった。参加者の年齢については規則性が見られなかった。

2.居住地

	2021年度	2022年度
北海道内	70.3	50.0
北海道外	28.9	48.6
無回答	0.8	1.4
計	100.0	100.0



■2021年度は北海道内からの参加者が70.3%を占めていたのに対し、今年度は北海道内と北海道外が約半数ずつを占める結果となった。

20221223 令和4年度 カムイワッカ部会 (第18回)

3.協力金の額について
2021年度 (¥1,000)、2022年度 (¥2,000) は適切だったか。

	とてもそう 思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わな い	全くそう思 わない	無回答
2021年度	70.3	17.2	9.4	2.3	0.8	0.0
2022年度	73.0	17.6	5.4	4.1	0.0	0.0

■2021年度の協力金の額が1000円だったのに対し、2022年度は2000円に変更された。値段設定に対する設問、協力金は適切だったという問いに対し、2021年度はとてもそう思うが70.3%、2022年度は73.0%と価格変更による大きな差は見られなかった。

